

# 知恵キラリ

キラッとひかる  
企業の知恵をご紹介します



佐治幹生さん

## ライフスタイルに合わせた 甲冑飾りの楽しみをお届け かっちゅう



### 工房 武久

(代表者) 佐治 健夫  
(住 所) 京都市上京区若松町358  
(TEL) 075-467-4311  
<http://www.koubou-bukyu.com/>

(事業内容) 節句人形等の製造卸

かわいい！扱いやすい！  
常識を変える  
使い手重視の商品提案

今から15年前、鎧兜など節句人形の製造卸を手がける老舗・平安武久からのれん分けて独立した。「従来の伝統にとられない特色あるものづくりを」と佐治幹生さん。兜に使われる糸は朱赤しゅあかの緋糸ひいとが一般的だったが、今までのように祖父母が孫に買ってあげるのではなく、若いお母さんが子どもと一緒に選ぶことが多くなったことから、顧客ニーズをいち早く取り入れ、淡いブルーやグリーンなどやさしい色合いの糸を使った兜を提案している。

兜の前面に取り付ける前立てについても、鍬形くわがた(角)を大きく際立たせ、縁起物の竜の飾り(竜頭)と一体化させた「雲竜鍬形」を独自に開発。見た目が立派で、取り外しや収納も容易なため、スペースが限られた場所でも気兼ねなく飾ることができる。鎧兜そのものの形を大きく変えることは難しいが、お客様が「かわいい」「扱いやすい」と思うようなデザインや色、大きさにカスタマイズすることで、実際に飾って楽しんでもらえる商品づくりを目指す。

## 京都の知恵を掛け合わせ ギフト・インテリア市場で 価値を創出

異業種とコラボし、甲冑の伝統技術を新たな用途展開に生かそうと考えている。従来の金屏風ではなく、北山杉や西陣織を使った鎧兜の新しい飾り立てを提案。会社設立や結婚式等のお祝いに、名前やロゴを入れてお届けするなど、ギフト市場での需要の掘り起こしに期待をかける。

「節句の時期だけでなく、一年を通して身近に楽しんでもらいたい」と佐治さん。西陣織の機元で独自に織ってもらった生地に、真田幸村や伊達政宗など人気の武将の前立てを飾り付けたウォールパネルは、リビングや玄関先などにお洒落に飾ることができ、メイド・イン・京都のインテリア商材として若い世代から支持を得ている。京商などが主催する「京都知恵産業フェア」にも出展し、訪れたバイヤーの反応も上々だった。



手作業で細かな調整を行う



ギフト市場の開拓を目指す「ウォールパネル」



飾り立てに北山杉を使った兜

伝統技術に裏打ちされた合理的なもののづくりで  
魅力を発信

「鎧兜は高いものというイメージを払拭したい」そう思った思いで作業を効率化し、低価格かつ高品質なもののづくりの実現に取り組んでいる。兜を飾る鉄形、シコロの小札板などを金型・樹脂型プレスで加工することで量産化を進める一方で、手間のかかる下仕事は機械に任せ、ヤスリがけなどの細かい

仕上げは手技を生かしている。その結果、通常の1/3ほどの価格帯での商品提供が可能となった。  
「お客様が必要とされる商品をお客様からも追求していく」と佐治さん。古来より日本人は、鎧兜や雛人形に様々な願いを託してきた。近年、節句を祝う機会は少なくなりましたが、現代のライフスタイルに合わせて伝統技術を活用し、新たな市場開拓や用途開発につなげることで、その思いを未来へ紡いでいく。

解説!!

## 知恵のポイント

### Point.1 伝統にとられないカスタマイズ

独立して15年という店の若さを生かし、顧客である小売店などから市場ニーズをいち早くとらえ、多様な糸色の組み合わせやオリジナル性の高い意匠で、ライフスタイルに合ったものづくりを行う。

### Point.2 ターゲットの拡大

手作業と機械作業の組み合わせで、低価格のものづくりを実現。伝統工芸品ではなく、より身近に楽しめる飾り物として、節句にあまり関心のなかった若い世代などにもターゲットのすそ野を広げる。

### Point.3 伝統技術の新展開

伝統工芸士としての高い技術力を、節句の飾り以外の用途に活用。異業種とのコラボで、ギフトやインテリアなどで使ってもらえる京都らしい商品を開発し、新たな市場での展開を目指す。

応援  
します!

経営革新・知恵の経営に取り組む企業のご相談にお応えします。  
【相談無料】TEL.075-341-9781  
中小企業支援部 知恵産業推進課